

古野 辺野古
工事 埋立
申請 変更

新知事に委ねよ!

9月定例議会

嗣幸さんは、9月定例会での発言を前に、辺野古の大浦湾を漁船で海上から視察をし、変更申請の美謝川水路切り換えの現地を視察した。この調査をもとに仲井真知事に不当性を追及した。さらに、基地問題の他にカジノや5歳児幼稚園、県河川管理の問題等の質疑を行った。

(問) 沖縄防衛局は9月3日、県に対して埋立工事4件の設計変更を申請した。これは、地元名護市から同意を得られないからであり、県の承認の実効性が否定された。この審査は、新知事にゆだねるべきではないか。

(答) 平成26年9月3日付けで提出された「設計概要変更承認申請書」には、埋立等の工事について、安全及び環境の保全に配慮しつつ、より効率的かつ着実に進めるための方策について埋立承認後も検討を継続した結果、計画変更に至ったと記載されております。



また、変更内容は、
① 工事用仮設道路の追加
② 中仕切護岸の追加
③ 美謝川切替ルートの変更
④ 埋立土砂運搬方法の一部変更
これらの変更は、公有水面埋立法第42条第3項により準用する同法第13条の2に規程される設計の概要の変更にあたることから、変更承認申請が必要であり、法律に則り提出されたものであると理解しております。
なお、設計の概要の変更に係る標準処理期間は44日と定めていることから、この定めを踏まえつつ審査等を行ってまいりたいと考えております。



仲井真知事に辞任を求める県議団

カジノ導入は、
公約違反

(問) 2010年の知事公約で「県民合意が得られなければ導入しない」としていたにもかかわらず、昨年の沖縄政策協議会でカジノに関する要請を行ったほか、法案の審議入り前に調査や基本構想の策定を先行させるなど、既成事実を積み上げる手法は、公約違反ではないか聞きたい。

(答) 昨年12月の沖縄政策協議会における要請については、カジノの合法化につながる関連法案が国会に提出され、我が国においてもカジノの導入に向けた法整備が開始されたことを踏まえ、沖縄県としても産業振興を図る観点から、関心を持っていくことを伝えるために行つたものであります。
統合リゾートは、経済波及効果の面でメリットがあるといわれており、沖縄県でも、想定される懸念事項への対応策を含め、調査研究を続けております。国会においては、関連法案の

審議が始まっており、沖縄県としましては、その審議を注視しつつ、引き続き統合リゾートの導入に関する検討を進め、導入にあたっては、具体的構想・計画を示しながら、コンセンサスを得てまいります。
したがって、公約違反ではありません。

5歳児幼稚園、義務教育無償化について

(問) 文部科学省は、現行の幼稚園、保育所、子ども園などの枠組みを維持したまま5歳児の義務教育無償化の検討をしている。沖縄県の特徴を活かすためにも、2011年3月県議会決

議や教育長が答弁したように、幼稚園の義務教育無償化の実現をはかるべきである。教育長の見解を聞きたい。

(答) 2011年3月県議会決議の沖縄型幼児教育支援制度については、国と調整して参りましたが、沖縄の幼稚園教育の特殊性を認めてもらえず実現できませんでした。
段階的に取り組んでおり、今年度は、5歳児の生活保護世帯と多子世帯の無償化が行われ保護者の負担軽減がなされております。
幼稚園義務教育化につきましても、教育再生実行会議において学制改革の検討が行われていることから、今後とも国の動向を注視して参ります。

ブラジル

カンボグランデ市
入植100周年
ボリビア
入植60周年

嗣幸さんは県議団として8月17日から23日まで式典に出席した

政府による移民計画で南米に入植した移民は広大なジャングルを開拓し、移住地を築いてきている。

今では機械化が進み、小麦と大豆の栽培で県系人の中には大規模な牧場を営む人もいます。しかし、入植当初は、原因不明の風土病や干ばつ、水害、オイルショックの影響で打撃を受ける苦難の道のりであった。

カンボグランデ市入植100周年、ボリビア入植60周年が盛大に行われた。



カンボグランデ市の希望の大地の前で



出発式の県議団

**翁長新知事
辺野古移設阻止を表明**

12月定例議会



県議会12月定例会で所信を表明する翁長雄志知事
12日午前、県議会

12月定例会が12日から開会し、翁長雄志知事が初の本会議に出席し、所信表明と総額71億余の補正予算、副知事の同意案件などが提案された。
嗣幸さんは、決算特別委員長として25年度決算の概要30分間を説明し報告した。

翁長知事は、辺野古への新基地阻止へ向けて不退転の決意で取り組むことを表明し、また埋立承認の過程に法的瑕疵があった場合は承認の「取り直し」を検討するとした。15日の本会議では、浦崎唯昭、安慶田光男両氏の副知事案件が自民党が反対する中で多数可決された。早速16日から就任し、代表質問と一般質問が展開された。

一足早く「包囲」



記者席

〇…崎山嗣幸県議(社民護憲)は米軍普天間飛行場の辺野古沿岸部への移設に向けて沖縄防衛局が提出した埋め立て工事変更申請で、土砂を運ぶダンプカーが1日平均592台に及ぶことに驚く。「環境への負荷軽減と言っていたのに、逆に負荷をかけるように変更するのは認められない」と指摘する。9日には県庁包囲行動で変更申請の不承認を求める予定だが、県議会でも同僚議員らと承認の判断を知事選後にするよう要求。一足早く県庁包囲を図っていた。

琉球新報 西暦2014年10月9日

**嗣幸さん
決算特別委員長報告**



嗣幸さんは、各常任委員会に付託された議案や知事への総括質疑等の審査の過程における説明や質疑の概要を約30分かけて行った。

5年以内の運用停止は

十月二日に外務省に対して日米合意について確認したということだが、普天間基地の5年以内の運用停止を政府が要求したのか確認したのか。5年以内の運用停止に関する閣議決定は行われたのか。また、今年度及び次年度の普天間基地の改修計画予算はどうなっているかとの質疑がありました。これに対し、日米合同委員会の

な議論は十月二日にはそもそも議題に上がっていないと理解している。5年以内の運用停止に関して閣議決定という形はとっていない。また、日本側の予算で、合意書が公表した普天間飛行場補修事業経費については、平成二十六年予算は二十五億四千六百万円、二十七年の要求は九億三千八百万円と聞いているとの答弁がありました。

カジノは賭博行為

カジノは県民合意が前提としながら知事は既に推進の立場であるので選挙公約として明確にしてはどうか、統合リゾートの検討開始の時期、県外移設という知事公約に反した辺野古移設の判断は単独で行ったのか、日米合同委員会で米国代表者が5年以内の運用停止について「空想のような見直し」とか「日本側からの正式な要請

は無い」とコメントしたとの報道があるが把握しているか、導入を検討しているカジノはマカオ等に対抗できるのか、カジノは辺野古移設の取引条件だったのではないかと、カジノは賭博行為であると思う理由と判例はどうか、ペンタゴンへの要請体制構築などについて質疑がありました。

**九州大学で
海上浮体式風力発電を学ぶ**

二〇一一年には博多湾の東部に発電システムを備えたファームの説明をした。

去る11月25日から26日にかけて、新エネルギーの開発と福岡県の水素戦略を中心に経済労働委員会を視察した。

九州大学では、大屋裕二教授が洋上に設置した浮体に風力・太陽光・潮力、そしてアンカーケーブルに動く張力といったエネルギー源を利用した複合的な



▲大屋教授を囲んで



▲風力発電



6月定例県議会

沖縄戦・安保法制
百田発言・土砂搬入問題

サキ山県議、戦後70年で
など所感を表明

6/16～7/10まで開かれた6月定例県議会で、サキ山議員は質問に立ち、県政の重要な時期にあつて、沖縄戦や安保法制、百田発言など所感を表明。与党派提案の「県外からの土砂搬入規制条例案」や離島地域の振興策について、知事に質した。



6月議会で登壇、県政のかつてない厳しい情勢下、所感を述べるサキ山議員。



サキ山議員の所感と質問に答える翁長知事



70年前の沖縄戦は熾烈な地上戦により20数万余の一般人を含む命が奪われた。翁長知事は慰霊の日に平和の尊さを次世代に継

承し、沖縄の心を世界に発信した。併せて、辺野古移設中止の民意を、安倍首相の前で力強く発言した。果たして知事や県民の思いは首相の胸に響いたのか。首相は安保関連法案を強引に成立させる狙いだ。圧倒的多数の憲法学者が憲法違反と指摘している。廃案にすべきだ。軌を一にして自民党勉強会での百田尚樹氏の発言は歴史を歪曲、県民蔑視で許しがたく、嚴重に抗議すべきである。また、安倍首相は慰霊の日の式典の場で「沖縄の地上戦の不幸な歴史を深く心に刻む」と挨拶したが、歴代首相が沖縄戦について触れても、被害の実態に対する政府の調査は抜け落ちたままである。(要旨)



離島住民の生活向上で質問
経済振興

離島地域の発展へ数々の提言と要望

◆質問・・・泊埠頭施設の整備および那覇港湾機能再編計画見直しについて

泊埠頭は本島と周辺離島(渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜、久米島、南北大東)を結ぶ表玄関の役割を果たしている。以下を県当局に伺う。

- ・渡嘉敷、座間味の屋根付きボンツーンの設置
- ・陸電施設の設置及び整備
- ・泊埠頭への屋根付き歩道の整備
- ・周辺離島フェリーを那覇埠頭に集約する計画の見直しについては、安全性、

利便性の観点から、従来通り泊埠頭を拠点にすべきではないか。

◇答弁・・・本島と離島を結ぶフェリーの泊埠頭の拠点化をH27年3月26日の第3回委員会に提案した。

◆知事公約の「島たび助成」事業は、フリー運賃や宿泊費の助成を通して本島と周辺離島の観光振興や地域活性化につながる。是非とも実現すべき。

◇フェリー運賃、宿泊費の助成をH28年度

取引税への課税免除の恒久化の実現

◆久米島-那覇路線の航空、航路運賃の低減を一般利用者、観光客に拡大

◆離島のガン患者、難病患者支援のため、放射線治療に加え、手術、科学療法、ペット検査等にも、宿泊費、航空費、航路運賃の助成を拡大。



去る6月の台風9号で防波堤が決壊した渡嘉敷島で、松本村長から復旧への要望を聞いた。



南大東島の貯水池調査で仲田村長と議員団、仲田村長は沖水の後輩である。



漁業者に痛手を与える日台へ、棚原議員は沖水の後輩。



伊良皆多良間村長に同行、村の振興を要請。多良間村は息子の嫁の出身地である。

◎その他の提言・要望事項



沖縄県議会議員

サキ山嗣幸 NEWS



沖縄のことは、県民が決める。

揺るがず、進む。

2015/10 NO.94

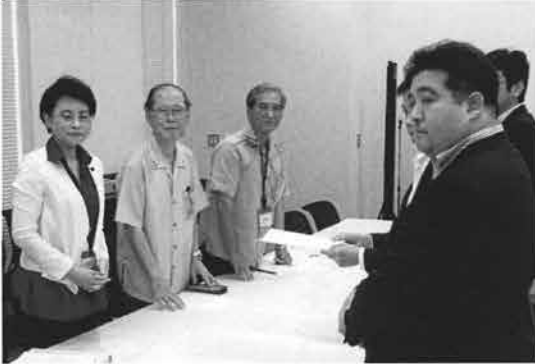
国の戦争被害調査

沖縄だけ抜け落ち

サキ山さんら社民・護憲会派、内閣府へ補正要求

国のいい加減さ
ここにも
感じる差別

沖縄戦の被害を政府報告書記載を求め内閣府の茂呂賢吾参事官に要請書を手渡す。(8月10日)



1949年の国による「太平洋戦争被害報告書」に沖縄戦の被害が抜け落ちているとして、サキ山県議、仲村未央県議ら社民党・護憲会派のメンバーは、8月10日内閣府を訪ね、沖縄戦の被害実態を報告書に記載するよう要請しました。メンバーらは甚大な被害を受けた沖縄だけなぜ記載されないのか、その理由を質すとともに、調査の是正を求めました。内閣府大臣官房の茂呂参事官は「現在は担当部署がなく難しい」と述べましたが、これでは国の戦争調査では沖縄戦は無かったということになり、サキ山議員らは戦後70年経た今も、甚大な人的・物的戦争被害を受けた沖縄に対するいい加減さと差別を、ここにも感じたようでした。



ガマフヤー 具志堅さんと交流

サキ山さんはガマフヤーとして知られる具志堅隆松さんと懇談。国の調査に沖縄戦被災者が漏れている実態や、内閣府への要請内容を伝えました。

具志堅さんは、自ら戦争遺骨収集対策を国へ要請してきた経験から、政府のいい加減な対応や、本土の人の無理解さに、終始怒りを込めていました。さらに「政府は軍人の遺骨にしか興味がない。国による召集令状で国民を戦死させておいて、その遺骨を家族の元に帰すのは国の責任だと追及しても、『はい、そうだ』と軽々しい返事ばかりだ。」と政府への不信感と厳しい意見を持っていました。



懇談するサキ山さんと具志堅さん。

沖縄戦被災者の遺骨をガマなどから収集し、家族の元へ帰し、慰霊と地上戦の実相を伝える、ガマフヤー代表具志堅さん。

崎山議員は、学童疎開船対馬丸記念館を訪ね高良理事長らに報告。記念館の方々は「対馬丸は国策の犠牲であり、対馬丸以上の犠牲者を出した学童疎開があったか。戦争記録にその犠牲者が含まれないことには愕然とする。事実であれば眠る御霊に申し開きが出来ない。国会で明らかにしてほしい。」などと話していた。

対馬丸記念館

国策で奪われた子の命を語り継ぎたい。



対馬丸記念館の高良理事長(左3)、外間常務理事(左1)らと。同記念館内で撮影。

沖縄・民間戦争被害者の会では、崎山議員の報告に「南洋などでは県人が多く、戦死者、引き揚げ者は放置したまま。戦争があったからこそ、今も苦しむ人がいる。国にそういう人たちの記録が無いことは責任放棄だ。会も何らかの要請を行いたい。今回の告発は大変重要であり、決してあきらめないで。」と語った。

民間戦争被害者の会

社民党の告発は重要、あきらめな。

野里会長、上原副会長らに報告し、今回の社民党の告発に、激励を受ける崎山議員。



首里に進軍した米軍(首里教会前)



沖縄県
議会議員

サキ山嗣幸 NEWS



沖縄のことは、県民が決める。

揺るがず、進む。

2015/9 NO.95

サトウキビの長期・安定的発展を



全糖労執行委員長から要請を受ける浦崎副知事、とサキ山嗣幸県議ら。(9月6日県庁副知事室にて)

サキ山県議
らが仲介

全糖労、浦崎副知事へ要請

昨今の干ばつや日照不足、台風などでサトウキビの生育に遅れが生じた上に、害虫発生などで生産農家の収入源、製糖会社の減産と品質低下で大幅赤字が見込まれる製糖業。その経営の不安定さの解消を求め、去る9月6日、全沖縄製糖労働組合などが、社民党の崎山嗣幸県議の仲介により、浦崎副知事へ要請書を手渡しました。要請では、TPP撤退、砂糖税導入反対、糖価調整法の安定的運用など、多岐にわたる事項を要請しましたが、全糖労の山里執行委員長や同行した崎山県議らは農業の基幹作物の危機的状況を県も認識し、

糖業関係者の長期、安定的発展のため、要請への対応を求めています。



離島住民の生活向上 経済振興に力尽くす

久米島など離島の発展へ提言数々

本島に比べハンディをもつ離島住民は、生活の利便性の向上、災害に強い島づくりを願っています。サキ山さんは、これまで離島振興への数々の提言を行い、離島地域の要請を県当局に伝える橋渡しにも尽力しています。

これまでサキ山さんは、離島の方々から要請や相談を受け、これを県議会で質問してきました。最近、取り上げた課題を紹介しますと、

◆本島と周辺離島(渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜、久米島、南北大東)を結ぶ表玄関の役割を果たしている、泊埠頭施設の整備および那覇港湾機能再編計画見直しについて、

- ① 渡嘉敷、座間味の屋根付きボンツーン
の設置
- ② 陸電施設の設置及び整備
- ③ 泊埠頭への屋根付き歩道の整備
- ④ 周辺離島フェリーを那覇埠頭に集約
する計画は、利便性の観点から従来通り
泊埠頭を拠点にすべきだ。



これについて県は、フェリーの泊埠頭の拠点化をH27年3月26日の第3回委員会に提案しました。

◆「島たび助成」事業は、フリー運賃や宿泊費の助成で、離島の観光や地域活性化につながるので実現すべきだ。

これについて県は、フェリー運賃、宿泊費の助成をH28年度に実施すると明言しました。

◆その他、次の提言・要望もしています。

- ① 小型旅客船に対する軽油取引税への課税免除の恒久化
- ② 久米島-那覇路線の航空、航路運賃

- 低減を一般利用者、観光客に拡大
- ③ 離島のガン患者、難病患者支援のため、放射線治療に加え、手術、科学療法、ペット検査等にも、宿泊費、航空費、航路運賃の助成拡大。



県議会経済労働委員会へ久米島町を視察。棚原議員は崎山さんの沖水の後輩である。



日台漁業協定見直しを強く求める崎山県議ら。

日台漁業協定で政府要請

政府は沖縄の頭越しに、しかも台湾側に大幅に譲歩する形で、日台漁業協定を締結しました。崎山議員は、沖縄の漁業者にも不利益とならないよう、県、漁業団体等とも連携し、取り決めの見直しを台湾側と交渉するよう、強く国に求めました。

STOP辺野古!



安全な街へ一歩、古蔵小学校区の防犯灯実現へ

毎年5基ずつ設置予定

夜間暗く、特に子ども達のためにも防犯灯の設置が望まれていた古蔵小学校近くの市街地。その近くのピザ屋さん「ばーすぬ家」店長の瑞慶覧尚さんから、ぜひ防犯灯設置を急いでとサキ山さんに相談がありました。サキ山さんは早速いろいろと調査し、防犯灯補助申請に必要な

人数5人を集め「古蔵小学校区防犯友の会」を結成。市役所（生活安全課）への補助申請、沖縄電力、道路管理者への折衝を精力的に行い、このほど今年10月にまず防犯灯5基が設置されることになりました。

今後は毎年5基ずつ増やす予定で、夜間でも明るく、より安全・安心な街になると、瑞慶覧さんはじめ住民の方々に喜ばれています。

←この話題は新聞の記者席(琉球新報9/24)でも紹介されています。

地域の強い要望を受け
がんばりました。



古蔵小近辺の市街地。毎年5基ずつ街灯が設置される。



もっと光を

○...地元那覇市国場が校区に含まれている古蔵小学校周辺に防犯灯を設置する活動に取り組んでいる崎山嗣幸県議(社民連盟)。「最近、全国で子どもの誘拐事件や殺人事件などが起きており、安全のために設置が必要だ」と語る。このほど、那覇市の補助制度を活用して5基を設置できることになり「基地問題で忙殺されがちなが、地域のことをやるのも議員の仕事だから」と成果を強調。防犯灯の設置によって、文字通り地域の課題に光を当てたようだ。

記者席



「ばーすぬ家」前で瑞慶覧さんとサキ山さん



現在行われている鯉のぼりまつり

散策やウォーキングを
快適に楽しめる

国場川護岸の環境整備を

県が管理する国場川。昔は浸水騒ぎも起こったが、河川の改修が進み、災害は少なくなりました。国場川は子ども達の格好の水遊びの場でもありました。近年は市街化により川の汚染が進み、一部を除き護岸は雑草が茂り美観上も決して好ましい環境ではありません。

崎山さんは自分も幼い頃遊んだ川で

あり、地域の要望も強く、市議時代から改善を求めてきました。今後も災害に強い国場川はもちろん、特に遊歩道が途切れ、未整備箇所が多い地区の早急な整備を県当局に提案したいと話しています。毎年行われている「鯉のぼり祭り」と組んだ花見や、上流から下流へ「さがりばな」などの植樹で、快適な散策やウォーキングが楽しめる環境整備に、期待がふくらみます。



護岸環境整備でウォーキングが楽しめたら...



事業の加速が望まれる真和志線。現場をみる崎山さんと鳥袋さん

真和志線 拡幅工事の 加速を

交通量が多く歩道も無いため、地域から危険だとして拡幅整備が望まれ、崎山さんもたびたび取り上げてきた真和志線。現在は繁多川交差点から通称工業線の620メートルの道路拡幅事業が着手されていますが、進捗が遅いため、早急な整備を望む声が高まっています。道路近くに住む鳥袋秀勝さんから再度の要望を受けたサキ山さんは、現状を再確認、市民の安全と地域の発展のためにも、工事の加速を痛感していました。



老人福祉センターが近くにあるために、お年寄りの利用者が多く、識名3丁目の傾斜のある里道。崎山さんの尽力で整備されたが、以前は人が多く、転倒して救急車で病院に運ばれた方もいるほどだった。今では手摺り柵やすべり止め舗装も施され、地域の安全通行と利便性に大きく寄与している。



里道整備に感謝
識名・平良忠誠さんご夫妻

近くに住む平良忠誠さんご夫妻も崎山嗣幸さんの尽力に感謝し、地域に欠かせない人だと語っていた。



県民の文化遺産

首里城公園を県管理へ



沖縄の歴史・文化の象徴として沖縄観光の拠点となっている首里城公園。この首里城公園を県の管理にするよう、サキ山さんは提言しています。首里城公園は年間約200万人の人々が訪れ、沖縄観光に大きく寄与し、年間収入4億円を超える多額の収益を上げていると言われていす。この管理形態を県に移管し、運営や収益の

県民の文化遺産は
県民の管理に

収益は県民にも還元を

管理を県が行えば、文字どおり沖縄県民の歴史・文化遺産となります。また、公園の収益は何らかの形で県民にも還元されるような方策をとった方が、県民のためになるのではと、サキ山さんは主張しています。サキ山さんは、県議会でのこのことについて、再度質問を行い、県当局は、内閣府、県、再生機構等の5関係機関で、移管についての協議を進めているとしています。



県民の財産として移管が待たれる首里城公園



「国は軍人の遺骨にしか興味ない」

ガマフヤー 具志堅さんと懇談



↑ 沖縄戦被災者の遺骨をガマなどから収集し、家族の元へ帰し、慰霊と地上戦の実相を伝えている、ガマフヤー代表具志堅隆松さん。

国の調査に沖縄戦被災者が漏れていることについて、サキ山さんはガマフヤーとして知られる具志堅隆松さんと懇談。その実態や内閣府へ是正要請した内容を伝えました。

具志堅さんは、自ら戦争遺骨収集対策を国へ要請してきた経験から、政府のいい加減な対応や、本土の人の無理解さに、終始怒りを込めて話していました。さらに「政府は軍人の遺骨にしか興味がない。国による召集令状で国民を戦死させておいて、その遺骨を家族の元に帰すのは国の責任だと追及しても、『はい、そうだ』と軽々しい返事ばかりだ。」と、政府への不信感と厳しい意見を持っていました。



懇談するサキ山さんと具志堅さん。



**辺野古新基地
埋立承認撤回**

沖縄無視の国の暴政・圧政に憤り



サキ山さんは、辺野古米軍新基地建設の埋立てを、前県政の承認を翁長知事が取り消したことに對し「知事の歴史的英断だ。翁長知事の取り消しに對し大きく評価する。国の沖縄に對する民意、苦難の歴史を無視した、むき出しの圧政に強く抗議し、オール沖縄の一員として、今後も翁長知事を全面的に支え、闘っていく。」と、決意を新たにしています。

政府は前知事の承認だけを根拠に、埋め立てを強行していますが、私たちは名護市長選、知事選、衆院選をはじめとする選挙で、「新基地は造らせない」との圧倒的民意を示しました。これを踏みにじることは、日本が本当に民主主義国家なのか、と各界から抗議とともに、翁長知事を支持する声が上がっています。沖縄だけに基地の過重な負担を強権で押しつけ、歴史や民意を無視する異常な国の姿勢は「民主主義破壊の暴政、圧政」そのものです。

サキ山さんは、「民主主義を守り、正しい主張しているのは沖縄だ」と、強権を振りかざす政治に憤っています。

知事の英断を評価

オール沖縄の一員として、知事を支える



辺野古の座り込み抗議団を激励するサキ山さん

2015/5/15 15:48

工事再開強行は民主主義の破壊
民意踏みにじる暴挙だ。

「崎山嗣幸と県政を考える会」第3回講演学習会

11月19日(木)

演題 **沖縄の自己決定権を考える**

午後6時半～

講師／新垣 毅 (琉球新報記者)

会場／那覇市職員厚生会館 3 F ホール



新垣毅氏 (琉球新報記者)

早稲田大学は去る10月、社会や文化、公共の利益に貢献したジャーナリストを顕彰する第15回「石橋湛山記念・早稲田ジャーナリズム大賞」を発表し、琉球新報社の新垣毅編集委員の「沖縄の自己決定権を問うキャンペーン～連載『道標(しるべ)を求めて』を中心に～」が大賞に選ばれました。「崎山嗣幸と県政を考える会」では、辺野古問題等の基地問題に象徴される沖縄差別から脱却し、沖縄の自立を考えるため、講師に新垣毅氏を招き、「沖縄の自己決定権を考える」第3回講演学習会を開催します。